

岐阜県代表に向けて 毎日練習に励んでいます。

高山市民時報 (第3種郵便物認可)

**全国高総文・書で県代表に
井下さんが出品に向け習練**

飛騨高山高・書道部の井下京香さん(2年)が、文化部のインターハイといわれる「全国高校総合文化祭」(7月に香川県)への出品に向け、習練を積む(右写真)。

昨年12月の県代表選考会で最優秀賞を受賞し、全国への切符を初めて獲得した。同部員が出場するのは5年連続。

作品は選考会と同じ題材で、中国・唐の時代の書家・懷素(かいそ)が残した「自叙帖」の臨書(縦70センチ×横135センチ)。強弱や線の太さ細さが入り混じった個性的な筆遣いが特徴という。

それらを忠実に再現するために、墨の濃さと墨力の加え方などを意識しながら書き上げる。

作品の提出まで、残り1か月半。「これからもっと練習して、満足できるものに仕上げたい。それで賞を取れたらうれしいなと思います」と話した。

